



『種痘の図』（佐賀県立病院好生館所蔵）

下野近代医学の原点
壬生の医療文化史展

—先駆者の医術を訪ねて—

10月13日(土) ~ 11月25日(日)

主な内容

- 国保だより4~5
- 平成20年度幼稚園入園受付・幼稚園が
取り組む子育て支援事業7~9
- 新宇都宮市斎場の建設について10
- 秋の行政相談週間13

町歴史民俗資料館では、“医療の歴史”をテーマに、
町ゆかりの蘭方医の大家・齋藤玄昌さいとうげんしょう、「漢方界の六賢人」
の一人河内全節こうちぜんせつの功績を軸に、近代から現代につながる
医療史をひもときます。是非、ご覧ください。

(関連記事 2~3頁)

下野近代医学の原点

壬生の医療文化史展

—先駆者の医術を訪ねて—

町歴史民俗資料館では、住民と共有する新たな目標として、町の貴重な文化遺産である“医療の歴史”を活かしたまちづくりを考えています。

壬生町の“医療の歴史”は、江戸時代末期に壬生藩主の鳥居忠孝が蘭学を積極的に導入したことに始まります。忠孝は、医学や近代科学などの振興と人材の育成に力を注ぎ、蘭方医の大家・齋藤玄昌や漢方医の大家・河内全節をはじめ優秀な医者や多くの蘭学者を輩出しました。その名残として、町中心部の大通りは当時、蘭方医が軒を連ねたことから、現在、**「蘭学通り」**という愛称で親しまれています。

また、壬生藩の医学で特筆されることがあります。それは齋藤玄昌らが天保11年（1840）に、関東諸藩で最初の人体解剖をおこなったことです。その時の記録は「**解体正図**」として今日まで遺され、現代医学の基になると共に、藩の医療の水準の高さを物語っています。

さらに玄昌は医学の近代化を図るため、明治5年（1872）に私立学校の経営に乗り出しますが、奇しくも志し半ばで亡くなってしまいました。しかし、まるでその意志を継いだかのように一世紀を経た昭和48年（1973）当地に獨協医科大学を開学させるのです。これは真に医療機関の充実につながり、今日、住民が安心して暮らせる町に発展する一端を担ったと言えるでしょう。

本展では、本町ゆかりの偉大な先人たちが築き上げてきた“医療の歴史”を紹介し、医療を通じたまちづくりの礎を振り返りたいと思います。そしてご覧になった皆様が改めて壬生町民であることに誇りを感じてくだされば幸甚に存じます。

◆《展示構成》

◆ 第Ⅰ編 齋藤玄昌と医療

- 第一章 蘭方医 齋藤玄昌の登場
- 第二章 玄昌と解剖の広がり
- 第三章 玄昌と種痘の普及
- 第四章 軍陣医学と戊辰戦争—安塚の戦い

◆ 第Ⅱ編 名医と良薬

- 第一章 漢方医 河内全節の登場
- 第二章 太田信義と胃散の販売
- 第三章 名医の街

◆ 第Ⅲ編 獨協医科大学と医療

- 第一章 関湊—開学への道程
- 第二章 解剖学教室—現代版「解体正図」

◆ 会 期 10月13日(土)～11月25日(日)

◆ 開館時間 午前9時～午後5時 (但し、火曜日は午後1時から)

◆ 休館日 月曜日

◆ 観覧料 無料



太田胃散の製薬者
壬生藩医・太田信義 (榎太田信義薬房蔵)



漢方医界の六賢
壬生藩医・河内全節 (当館蔵)



近代医学の導入導入者
壬生藩医・齋藤玄昌 (当館蔵)



弘田親厚『会津征討日記』(個人蔵)
初公開資料。安塚の戦いに最新の医療技術を駆使したことを記す。



弘田親厚肖像(個人蔵)
土佐藩従軍医。従軍医日記『会津征討日記』を記す。



獨協医科大学の創設者
理事長・関 湊(獨協学園所蔵)



『会津征討日記』
明治元年閏4月14日の記録中に壬生城内にて「上肢損傷に付き、クロロホルムを嗅がせ麻酔をした」とある。(国内実例4例目)



『会津征討日記』
明治元年4月27日の記録中に壬生城内にて「看病人として、この地の婦人9人、養生局に採用」とある。(女性看護人の始まり)

◎関連企聞

「わがまち自慢は”医療の歴史”にあり」

「まちづくり創出フォーラムIN壬生」

本フォーラムでは町の貴重な文化遺産である”医療の歴史”を活かした、住民と共有するまちづくりを提案します。是非ご参加ください。

◆日時 11月4日(日)午後1時30分～4時00分

◆会場 壬生中央公民館中ホール

◆内容

第1部 基調講演

「齋藤玄昌と河内全節、そして獨協医科大学」

酒井シヅ 順天堂大学医学部客員教授

寺野 彰 獨協医科大学長

第2部 パネルディスカッション

「齋藤玄昌から獨協医科大学、そして医療の街へ」

中島嘉次郎 太田胃散筑波研究所長

酒井シヅ 順天堂大学医学部客員教授

寺野 彰 獨協医科大学長

清水英世 壬生町長

山崎一洋 下野新聞社下野支局長

小島宏子 とちぎテレビ記者

◆定員 200名(先着順)

聴講を希望する方は、整理券を必要としますので、事前に電話でお申込み下さい。

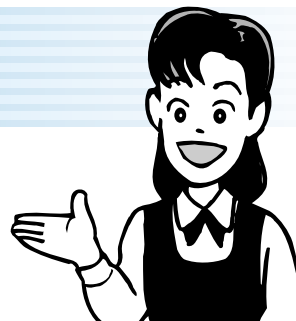
◆聴講 無料

◆後援 獨協医科大学、(株)太田胃散、壬生町医師会、

下野新聞社、(株)とちぎテレビ

◆問合せ先 町歴史民俗資料館 ☎82-8544

国保だより



『国民健康保険被保険者証』の 更新は10月1日です

国民健康保険被保険者証は、毎年10月1日に更新されます。本年も9月26日頃、郵送で世帯主宛に発送を予定しております。到着までに数日を要すると思われませんが、9月30日になっても届かない場合は、町民生部保険環境課国保医療係（☎81-1836）にお問い合わせ下さい。

現在お持ちの被保険者証は、9月30日で期限切れとなりますので、ご注意下さい。

なお、10月1日以降になりましたら、町民生部保険環境課か町民生活課または稲葉・南犬飼出張所へ返還して下さい。

人間ドック・脳ドック検診助成 受付しています ～平成19年度分を随時受付しています～

下記の「対象者」の全ての項目に該当される方は、人間ドック・脳ドック検診を受診するときの助成制度があり、8月現在で、若干の予定枠があります。平成19年11月以降の検診助成をご希望の方は、町民生部保険環境課国保医療係に申請して下さい。

なお、事前申請ですので、医療機関（注）に申し込む前にお問い合わせください。

（注）町と契約している医療機関での検診が助成の対象となります。

対 象 者 ※下記全ての項目に該当される方が対象となります。

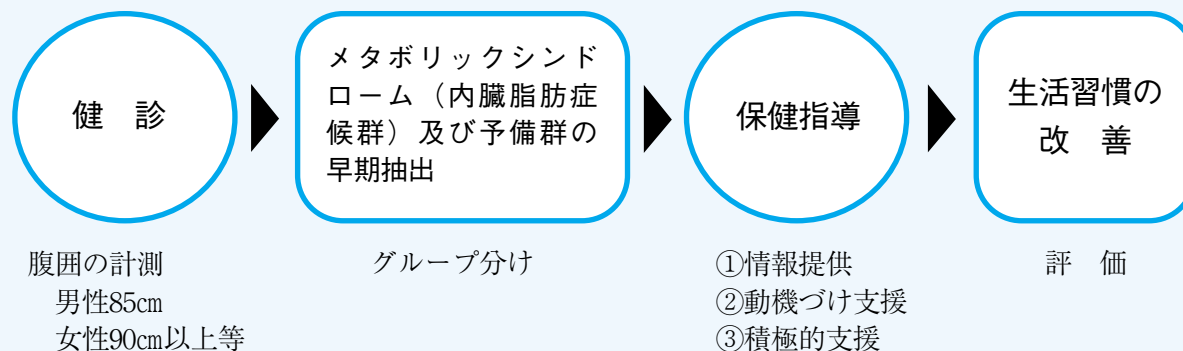
- ① 壬生町国民健康保険に加入している被保険者。
- ② 検診時に年齢35歳以上75歳未満の方。
- ③ 国民健康保険税を完納している世帯に属する方。

問合せ先 町民生部保険環境課国保医療係 ☎81-1836

平成20年度から新しい健診が始まります

国民健康保険等に40歳以上の加入者への健診と 保健指導が義務化されます

【20年度からの健診・保健指導の概要】



詳細については、今後お知らせしていく予定です。

平成20年4月から

『後期高齢者医療制度』が始まります！

現在、75歳以上の方（一定の障がいのある方は65歳以上）は、国民健康保険や社会保険に加入しながら、老人保健制度で医療機関にかかっています。しかし、平成20年4月からは、新しい「後期高齢者医療制度」で医療機関にかかるようになります。制度の主な内容は、次のとおりです。

	老人保健法による医療制度 (平成20年3月31日まで)	後期高齢者医療制度 (平成20年4月1日から)
運営主体	市 町	県内の全市町が加入する 栃木県後期高齢者医療広域連合
対 象 者	75歳以上の全ての方 (65歳以上の一定の障がいのある方)	左記に同じ
医療保険	国保、社保等の健康保険に加入	国保、社保等の健康保険から離脱し、 後期高齢者医療制度の対象者になります。
保 険 料	加入する医療保険に保険料を支払います。	後期高齢者医療広域連合に保険料を支払います。 (ただし、保険料の徴収業務は市町の担当課が行います。)
患者の 窓口負担	1割負担 (現役並所得者は3割負担)	左記に同じ

すべての被保険者が保険料を納めることとなります。

- ・これまでと異なり、扶養者、被扶養者と区別せず、1人ひとりが保険料を納めるようになります。

保険料率は、原則として県内で統一されます。

- ・同一県内でしたら、どの市町にお住まいでも、原則として同じ保険料率になる予定です。その保険料率に関しては、現在、栃木県後期高齢者医療広域連合において、検討中です。

保険料の納付について

- ・保険料は介護保険と同様、年金から天引きされますので（年間の年金受給額18万円以上の方）、今までのように保険料を納めに金融機関窓口に行く必要がなくなります。ただし、年金から天引きできない方などは、直接納付書で納めていただくことになります。

開かれた町政を目指して

平成18年度壬生町個人情報保護条例の運用状況について

平成18年度の個人情報保護条例の運用状況をお知らせします。

平成18年度末現在の取扱事務登録件数は616件となっています。個人情報開示等の請求はありませんでした。

個人情報開示等の請求件数	0 件
個人情報開示等請求の決定件数	0 件
不服申立ての件数	0 件

※壬生町個人情報保護条例とは？

個人情報の取扱いに関して、個人の権利利益の侵害を防止し、町の個人情報の保護施策の基本的事項を明確にして、個人の基本的人権を擁護することを目的としています。

「個人情報保護条例」「情報公開制度」に関するお問い合わせは

町総務部総務課文書法規係 ☎81-1807

平成18年度情報公開制度利用状況

平成18年度の情報公開制度の運用状況についてお知らせします。

★情報公開制度とは、町民の皆さんの町政に対する理解・信頼を深め、「より開かれた町政」の実現のため、町の持っている情報を公開する制度です。

平成18年度の公開請求は次のとおりでした。

No.	項目	件数	
1	請求件数	23 件	
2	実施機関別内訳	町長	17 件
		教育委員会	4 件
		議会	2 件
3	決定内容別内訳	公開	20 件
		部分公開	4 件
		非公開	0 件
		不存在	7 件
4	不服申立	1 件	

期限内納付のお願い

■期限内納付のお願い

税金は納税者自身が自主的に期限内に申告・納付する『自主納付』が本来の姿です。また、税金は他の債権（住宅や車のローンなど）に優先して納めていただくべきものです。

町は、町税を確保するために、口座振替の実施など『自主納付』の推進に努めています。しかし残念なことに税金を納めていただけない人もいます。全額納められた納税者との公平を保つためにも放っておくことはできません。たとえ、自分の不注意でうっかり忘れていたとしても、期限内までに納付されていない方にはできるだけ早く納税していただくように督促状や催告書を送付しています。

また、期限内に納付をいただけなかった場合には、延滞金を課すことになっております。このことは、滞納している本人にとって、延滞金がかさんでいくことになり、納税が遅れるほど負担が大きくなっていきます。税金は、必ず納めなくてはならないものですから、負担が大きくなり期限内に納付することが賢明です。なお、期限内に納められない事情がある場合には、税務課収税係までご相談ください。

■滞納処分

町では、納税の公平性を保つためにも、町県民税・固定資産税・国民健康保険税・軽自動車税について、指定期日までに何の連絡もなく放置された場合、法令に基づく滞納処分（徴収、または財産の差押えなど）を次のとおり行うこととなりますので、ご了承ください。

◎差し押さえる財産

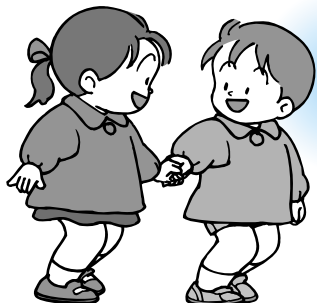
預貯金、生命保険、損害保険、給料（与）、住居や土地

※特に、給料（与）などを差し押さえる場合は、勤務先に連絡し、給料（与）照会をします。差し押さえたこれらの財産は換価し、未納となっている税金に充当します。

こうならないためにも、期限内に必ず納付しましょう。

■問合せ先 町総務部税務課収税係 ☎81-1816

平成20年度 幼稚園入園受付を行います



3歳になったら 幼稚園



幼稚園は人生で最初の「学校」です。

幼稚園は幼児教育を行う場であり、文部科学省・教育委員会とのつながりをもつ学校教育の起点であり、幼児を保育し、適当な環境を与えて、心身の発達を助長することを目的としています。

平成20年度 幼稚園入園受付

ご希望の方は通園に便利な最寄りの幼稚園での入園受付をお済ませください。
入園案内（願書）は平成19年9月1日以降、各園に用意しておりますので、お気軽におたずねください。



満3歳児入園

平成17年4月2日～平成18年4月1日生まれ

対応については幼稚園により異なりますので
各園にお問い合わせ下さい。

対象年齢

3歳児（3年保育）

平成16年4月2日～
平成17年4月1日生まれ

4歳児（2年保育）

平成15年4月2日～
平成16年4月1日生まれ

幼稚園児の保護者には次の公的補助金が支給されます

※幼稚園就園奨励補助

- 入園児童の父母の税額（前年分の町民税額）に応じて、階層区分が決まります。
- 同時に幼稚園に2人以上通園されている場合は、2人目の保育料が半額になります。
- 第3子以降の児童は保育料が全額免除になります。
（同時に通園されていない場合でも、第3子以降の児童であれば該当します）

壬生町幼稚園連合会

おもちゃのまち幼稚園 ☎86-5551
たちばな幼稚園 ☎86-0006
やすづか幼稚園 ☎86-1009

くにや幼稚園 ☎82-1200
月かげ幼稚園 ☎82-0233

幼稚園が取り組む 子育て支援事業

壬生地区の各幼稚園では、教育機関としての立場から
お子さんの心と身体を健やかに育む子育てを応援しています。

預かり保育

After Kindergarten

お仕事との両立やご家庭の様々なご事情に対応するため、各幼稚園では保育終了時から夕方5:00~6:00頃まで「預かり保育」を実施しています。家庭的な雰囲気を保ちながら、教育的配慮が行き届いた環境は幼稚園ならではの。

詳細は各幼稚園にお問い合わせください。



子育て相談

Counseling/Consulting



子育てに悩みや疑問はつきものですが、ひとりで思い悩んでいるより誰かに相談したほうが、問題の所在がわかり、解決の方法を見つけやすくなります。ご近所の先輩ママや親しいお友達なら、きっとよいアドバイスをしてくれるはずですよ。

でも、納得できる答えがなかなか見つからないときは、ぜひ幼稚園においでください。多くの幼児をお預かりする教育機関として、幼稚園はさまざまな経験と情報の引出を持っています。答えは必ずしもひとつとはかぎりません。

一緒にゆっくり考える — そんなことも幼稚園の役割のひとつです。

幼稚園のねらいと内容

幼児は遊びや生活の中で、主体的に環境に取り組み直接的、具体的な体験を通して、生きていく力の基本となる心情、意欲、態度などを獲得していきます。こうした幼児期の発達の特徴をふまえて、幼稚園教育においては、幼児の中に育つことが望ましい「心情、意欲、態度」を「ねらい」と呼んでいます。そして、「ねらい」を達成するために幼児が身につけていくものを「内容」としています。幼稚園では幼稚園教育要領（文部科学省）に基づいて教育課程をたて、その「ねらい」と「内容」を幼児の発達の側面からとらえて、5つの領域としてまとめています。

心身の健康に関する領域
『健康』

人との関わりに関する領域
『人間関係』

5つの
領域

感性と表現に関する領域
『表現』

身近な環境との関わりに関する領域
『環境』

言葉の獲得に関する領域
『言葉』

未就園児おやこ教室

Toddlers' Observation Class



子育てに国境はありません。アメリカでも州によって、月に何回か地域の集会場などで「Toddlers' Observation Class」が開かれています。これは、直訳すると「よちよち歩きの子の観察学級」とでもいうようなもので、1・2歳の幼児とその母親を対象にした、遊びと交流のための集まりです。

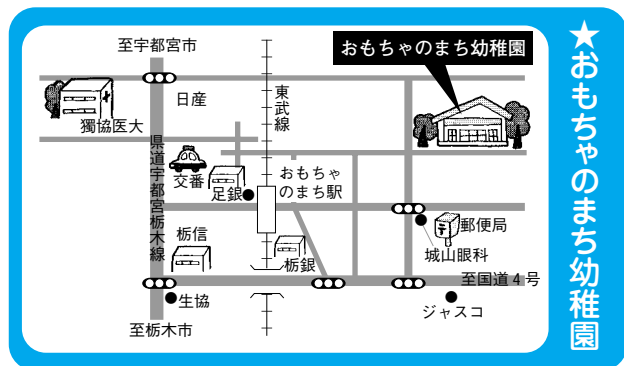
1・2歳は月齢差や個人差が大きく、子育てが最もむずかしい時期ですから、わが子の発達や自分の子育てに不安を抱く人は少なくありません。そこで、さまざまな子どもたちが一緒に遊ぶのを「観察」しながら、カウンセラーに質問したり、母親同士情報交換するなかで、自分の育児をみなおしたり、逆に自信を持ったり安心したりするための交流の機会が用意されているのです。

子育てが大変なのは洋の東西を問わずどこでも同じはずですが、日本の母親は欧米の母親に較べて子育てを深刻にとらえがちだといわれています。それだけ真剣なのだともいえますが、子どもたちが最も輝き、著しく成長するこの時期、発達の一瞬一瞬を目の当たりにできることの喜びを感じて、共に生活できたらいいですね。子どもたちにとっても、母親の優しくあたたかなまなごしは元気と自信の栄養です。

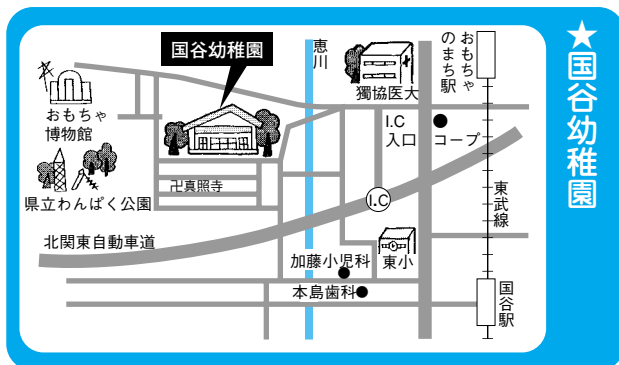
壬生地区の各幼稚園では、未就園児のために「園庭解放」や「親子教室」など、さまざまなプログラムをご用意してお待ちしております。

詳細は各幼稚園にお問い合わせの上、ぜひお気軽にお出かけください。

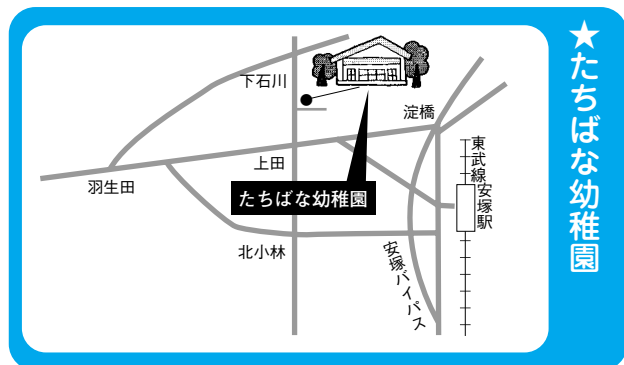
幼稚園名	未就園児親子教室	電話
おもちゃのまち幼稚園	こぼとクラブ	86-5551
国谷幼稚園	キディルーム	82-1200
たちばな幼稚園	うさちゃんクラブ	86-0006
月かげ幼稚園	わんぱくクラブ	82-0233
やすづか幼稚園	なかよしクラブ	86-1009



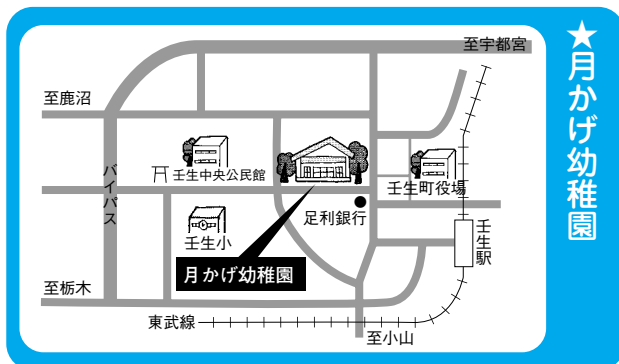
★おもちゃのまち幼稚園



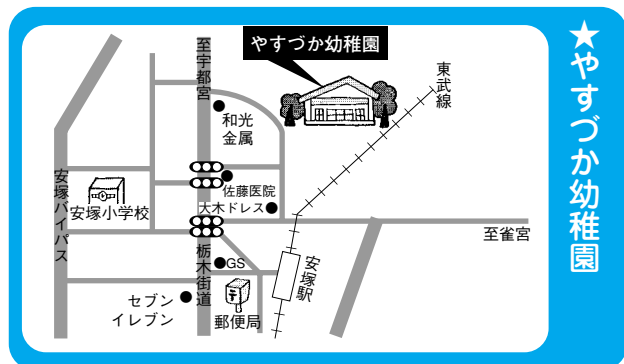
★国谷幼稚園



★たちばな幼稚園



★月かげ幼稚園



★やすづか幼稚園

新宇都宮市斎場(西斎場)の利用協定締結 新宇都宮市斎場建設

平成21年3月
利用開始予定



図1 新斎場完成予想図

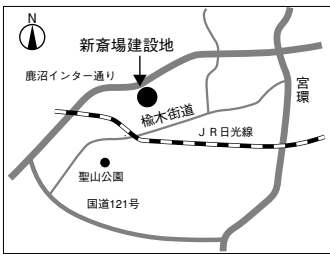


図2 位置図

■建設工事に着手

現在の宇都宮市斎場の老朽化に伴い、宇都宮市上欠町富士山台周辺(左図)を建設地として、今年7月から新斎場の建設工事を進めています。

本町は、利用協定の締結を完了し、町民の皆様にご利用いただけるのは、平成21年3月を予定しています。

■建設や運営・維持管理

県内自治体で初の取り組みとなるPFI手法を導入し、新斎場の設計・建設から20年間の運営・維持管理については、民間事業者が設立したSPC(特別目的会社)「宇都宮郷の森斎場株式会社」が行います。

■新斎場の概要(下表)

斎場に求められている「安らぎ」「ゆとり」「安心感」「荘厳さ」の姿を踏まえ、「緑と静けさに包まれた景観の創出」「多様な利用者ニーズへの対応」「ご遺族の心情へのきめ細やかな配慮」などの視点から、施設を整備します。

▽新斎場完成予想図

(図1) 火葬棟と式場棟は、その間に回廊を設置することにより、一体感のある配置とします。

▽お別れ室 水または緑の自然を感じる事ができる2つのタイプを設置します。

(図3は緑のお別れ室)

▽式場(図4)ロビーおよび式場から庭と自然林を眺める事ができるものとします。

※各図は、現段階でのイメージ図です。

※各図は、現段階でのイメージ図です。

火葬棟 鉄筋コンクリート造 2階建(約9,500㎡)	火葬炉	16基
	お別れ室兼収骨室	8室
	収骨室(他目的室)	4室
	待合室(洋室)	14室
式場棟 鉄筋コンクリート造 2階建(約2,000㎡)	待合室(和室)	2室
	式場(150人収容)	2室
	遺族控室	2室
	通夜控室	2室
駐車場	バス	24台
	普通車	360台
	車いす使用者用	6台



図4 式場

図3 緑のお別れ室

※PFI=「Private Finance Initiative (プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)」の略称で、民間の資金および経営能力・技術力(ノウハウ)を活用して公共施設などの社会資本を整備し、公共サービスを提供する手法です。

※SPC=「Special Purpose Company (スペシャル・パーパス・カンパニー)」の略称で、特定の事業を行うことのみを目的として設立する会社です。今回であれば、新斎場の整備・運営などを行います。

国の仕事のことなどで困ったときは、
行政相談委員にご相談ください

秋の行政相談週間

10月15日～21日

行政に対する苦情などをお聞きします。

総務省では、全国に行政相談のための窓口を設置し、皆さんからの行政に対する苦情や意見・要望を受け付け、公正で中立な立場から必要なあつせんを行うなどしてその解決を促進するとともに、行政運営の改善などを図っています。

行政相談週間は、毎年5月と10月の2回行われており、今年「秋の行政相談週間」は、10月15日～21日まで実施されます。

行政相談の内容は？

役所の仕事（国の仕事、独立行政法人、特殊法人等の仕事、都道府県・市区町村の仕事で、法定受託事務に該当するもの・国の委任又は補助を受けて行っている仕事）についてご相談ください。

年金、医療保険、老人保健・福祉、交通安全、消費者保護など、分野は問いません。

相談はどこに？

行政相談の窓口は、総務大臣から委嘱を受けた行政相談委員です。本町でも左記のとおり特設行政相談所を開設します。

また、行政相談委員は、月1回定例的に相談をお受けするほか、電話でも相談に応じていますので、お気軽にご相談ください。

相談は無料で、秘密は固く守られます。

特設行政相談

日時 10月18日(木)

午後1時30分～4時

場所 保健福祉センター

相談担当者

大森 忠 行政相談委員

☎82-2033

渡邊容子 行政相談委員

☎82-6613

問合せ先

町総務部企画財政課情報広報係

☎82-1814

科学体験バスツアーを開催

8月3日、科学体験バスツアーが実施されました。

この事業は、昨年まで県で実施していましたが、今年から各市町の事業となり、県内では4市町での実施となりました。

参加したのは町内の小学校4年から6年生までの32名で、壬生町のバンダイミュージアムと下野市のソニーエナジー・デバイス(栃木事業所)を見学しました。

午前中はバンダイミュージアムを訪れ、エンジン館や昔のおもちゃなどを見学し、ゲームコーナーでは、子どもたちがゲームに夢中になっている姿が見られました。

午後は下野市にあるソニーエナジー・デバイス(栃木事業所)を訪れ、会社に着く早々バイキングによる社食をごちそうになりました。

ソニーエナジー・デバイスではソニー教育財団の事業と科学体験バスツアーの事業が合致しての合同事業となりました。

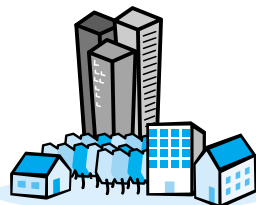
工場を案内していただいた後、厚木と郡山工場から来ていただいた指導員とアシスタントの方により、ユーモアを交えた指導でくだもの等を使用した電気の実験やマンガン電池の作り方を教わりました。

最後には子どもたちが作ったマンガン電池を使って、班に分かれて電車のレールを行い、子どもたちから歓声が上がっていました。

帰りのバスの中では、子どもたちから、来年も実施して欲しいという話が出ていました。



まちのわだい



◆おもちゃ団地夏まつり開催◆

9月1日の夕方、花火を合図に2007ファミリーフェスタおもちゃ団地夏まつりが盛大に開催されました。

バンダイモールセンター芝生広場をメイン会場、バンダイミュージアム芝生広場を遊びの広場、おもちゃ団地グラウンドを花火打ち上げ会場として行われました。

メイン会場では、小中学校や保育園の吹奏楽やマーチングバンドなどが披露され、おもちゃやディズニーランドの招待券が当たる大抽選会が行われました。両会場には多数の縁日コーナーや飲食の売店が立ち並び、大勢の家族連れで賑わいました。

そしてまつりの最後に真上に上がった花火を鑑賞した子どもたちは、夏休み最後のイベントに大喜びでした。



豪華商品がいっぱい 大抽選



全分団による一斉放水

◆非常時への備え 壬生町消防団夏季点検◆

8月4日、町総合運動場において、町消防団（鈴木正美団長・団員203名）の夏季点検が実施されました。

点検は、消防関係殉職者に対し黙祷を捧げた後、町長等による全団員の服装点検、全分団による機械器具点検が行われました。続いて、ポンプ操法が行われ、全分団一斉に放水をしました。

◆壬生寺で「納涼地蔵祭り」開催◆

7月21日、壬生寺において「納涼地蔵祭り」が開催されました。

祭りには、5月に町で滋覚大師円仁に関する講演をした阿南・ヴァージニア・史代さん夫妻、元駐中国大使のジョゼフ・キャロン駐日カナダ大使、清水町長なども見物に訪れました。

当日は、雷雨のため、園庭から講堂へ場所を移し行われました。円仁太鼓保存会の方による円仁太鼓や、伝統文化子ども教室で円仁太鼓を学んでいる藤井小の児童が成果を披露するなど、訪れた方々を楽しませました。

また、雨が上がった後は、園庭で盆踊りを楽しみました。



円仁太鼓を披露

◆「夢くらぶむつみ」と育成会でそばまき・交流会◆

8月16日、NPO「夢くらぶむつみ」と六美南部育成会の親子によるそばの種まきとおもしろ交流会がおこなわれました。

朝早くの涼しいうちにと、育成会の親子12人と「夢くらぶむつみ」のスタッフは、約500㎡の畑に綱を張ってうねを作り、そばの種まきと土をかけて転圧するまでの作業に汗を流しました。この日まいたそばは、11月頃霜が降りたあとに収穫し、この粉を使って1月に親子そば打ち教室を開催する予定です。

そばまきで汗を流した後は、子どもたちお楽しみのおもしろ交流会が行われました。朝早く切り出して準備した孟宗竹にそうめんを流し、地域のお年寄りたちと一緒に歓声を上げながらそうめんを食べていました。今年で3回目となったこの地域交流会は、子どもたちからお年寄りまで40人以上が木陰で、かき氷、バーベキュー、手作り料理を味わったほか、地元の芸人さんによるバンド演奏カラオケなどが行われ、暑い中にも涼を求めた一日でした。



みんなで流しそうめんを楽しみました

◆水棲昆虫採取による黒川の水質調査◆



川に入って昆虫をつかまえる子どもたち

8月7日、東雲公園付近を流れる黒川において、「黒川にサケをよびもどす会」による水棲昆虫採取が行われ、保育園児・小学生が参加しました。

これは、採取した昆虫によって水質を調べようというもので今年で4回目になります。

今回参加したのは、ありんこ・壬生寺・森の子・メリーランド・さくらんぼ保育園の年長および学童保育園児童と六美南部育成会の児童の計216名でした。

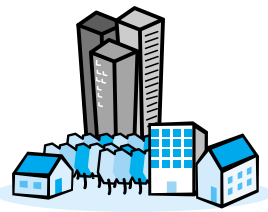
当日は、気温33℃の猛暑に見舞われましたが、子どもたちの多くは水着を着て参加しており、川に潜って虫を捕っていた子もいました。

採取した虫は高校の生物教師の一杉先生の協力のもと、種類を調べ、その虫が棲む水質について調べました。

前日の雨の影響で多くの種類の虫は捕れませんでしたでしたが、今回捕れた虫たちは、きれいな水と少しよごれた水に共通に棲む虫と少しよごれた水に棲む虫が多く、去年と同じく黒川の水は少しよごれた水であるということがわかりました。

河川敷にはビニール袋や花火等の行楽のゴミが目立ち、「黒川にサケをよびもどす会」の方によりますと、黒川の水質が改善するには公園、河川の利用者のマナーやモラルの向上が重要とのことでした。

まちのわだい



陸地区コミュニティセンターで 「つくろう・あそぼう・友だちになろう」のつどい開催

8月24日、陸地区コミュニティセンターにおいて、育成部会120人の児童が参加して「つくろう・あそぼう・友だちになろう」のつどいが開催されました。

夏休みのこの時期に毎年開催されているこの行事は、コミュニティのE L（エンジョイ・ライフ）部会の指導協力を得て開催されています。朝9時にセンター2階に集合し、コミュニティ副会長、育成部会長、E L部会長のあいさつがありました。その後、各自が申し込んだ内容毎に分かれ、2階では、わらざうり作り、竹とんぼ作り、缶ポックリ作り、1階の和室では、折り紙でくす玉作りとアクリルタワシ作りが行われました。

子どもたちは、E L部会の先生のお手本を見て、分からないところは質問し、友だちと教え合いながら夏休みの楽しい半日を過ごしました。



◆昔の「かんぴょう」むきに挑戦◆



手カンナでのかんぴょうむきに挑戦

7月26日、町教育委員会主催で行われた教職員の「転採入・新任者研修会」において、本年度新たに壬生管内の学校に転入・採用された先生方に、壬生町の特産である「かんぴょう」を知ってもらおうと、昔の方法でかんぴょうむきに挑戦していただきました。

現在、かんぴょうは電動の機械によって、すばやくむかれます。しかし、江戸から明治時代にかけては、輪切りにしたかんぴょうを、「手カンナ」という道具を使い、内側からむいていきました。

参加した先生方も、当初は手カンナの扱いに手間取っていましたが、慣れてきた先生はかんぴょうを、一本の見事なヒモ状のかんぴょうに仕上げていました。

むかれたかんぴょうは半日干した後、参加した先生方に持ち帰ってもらい、試食していただきました。

◆剣道教室の子どもたちが慰霊碑まわりを清掃◆

8月4日、壬生町剣道教室（安納一美代表師範）の子どもたちをはじめ、父兄や指導者40名が、東雲児童公園内にある慰霊碑周りの清掃を行いました。

この清掃活動は、毎年この時期に実施しているもので、子どもたちは暑い中ほうきや鎌を持って清掃活動を行いました。

また、清掃が終わった後、同剣道教室の安納一美師範から、戦争体験談を聞き、平和の大切さを学んでいました。



◆夏休み中の小学校を夜間パトロール 安塚中央自治会◆

安塚中央自治会（安生勝英会長）では、班長以上の役員で5月に「自治会防犯パトロール隊」を結成し、常時地域内の防犯活動に取り組んでいますが、今年も夏休み期間中、安塚小学校構内の夜間巡視を行いました。

安塚小学校は、自治会の中心でもありますので、大切な学校施設を守る一助になればと昨年からはじめたものです。

構成は、本部役員を含め役員総勢46名が、10班に分かれ、夏休み期間中の10日間、夜8時から構内の隅々までパトロールし、不審者の排除に取り組みました。

付近の住民の方からも、「自治会が防犯活動を積極的に行っているの、夜も安心です。」と、大変感謝されています。



◆六美北部自治会で救命講習会を実施◆



8月28日、六美会館において、六美北部自治会（石川洋雄自治会長）による、普通救命講習会が行われました。

これは、町の施設めぐりで石橋消防本部を見学したことがきっかけで、石橋地区消防組合の協力のもと、行われたものです。

講習会には六美南部自治会の4名を含む25名の参加がありました。参加者のみなさんは、消防署職員から人工呼吸や心臓マッサージの方法、AED（自動体外式除細動器）の使い方の説明を受けた後、実際に人形を使っての心肺蘇生法を行い、手順の確認を行いました。

もしものときに役立つ、有意義な講習となりました。

◆大塚亜美さん、山根緑さんレスリング全国大会で優勝◆

8月31日、レスリングの全国大会で優勝した、大塚亜美さん（壬生小3年）、山根緑さん（5歳）が、優勝の報告のため、町長室を訪れました。

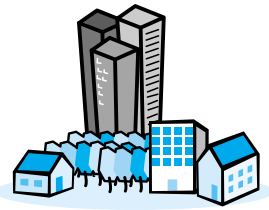
大塚さんは「第24回全国少年少女レスリング選手権大会」小学生女子3年生24kg級で、山根さんは「レスリング ジャパンビバレッジイーンズカップ2007」キッズ幼年+19kg級で見事に優勝を飾りました。

二人は宇都宮クラブ（鈴木伸太郎監督）に所属し、練習に励んでいます。今後の二人の更なる活躍が期待されます。



大塚さん 山根さん 清水町長

まちのわだい



◆保育園でボランティア活動◆

全建総連栃木建労壬生支部（池田恭之支部長）は、地域の木工、左官などの建設業に従事する労働者、職人の団体で、第30回住宅デーの活動の一環としてボランティア活動を実施しました。

とおりまち保育園とやすづか保育園では、遊具のペンキ塗りやタイルの修繕等を壬生支部の職人さんが行い、きれいになった遊具に園児達は大喜びでした。



遊具のペンキ塗りの作業中



きれいになった遊具に子どもたちは大喜び

◆壬生レッドが学童野球関東大会に出場◆



このたび、壬生小学校の学童野球チーム「壬生レッド」が「第4回NPBCUP選抜学童軟式野球大会」への出場が決まり、9月3日に役場に大会の出場報告に訪れました。

この大会には、関東地方に山梨県を含めた1都7県から各2チーム、合計16チームが参加し、9月8日、24日の2日間試合が行われました。

町長から「先輩たちの素晴らしい成績に負けないよう、頑張ってください。」という激励を受け、選手たちは決意を新たにしていました。

◆壬生町出身剣士インターハイ出場◆

7月30日、壬生町出身の小山高校剣道部の上野琢朗さん、君島大貴さん、寺内良知さんが、第54回全国高等学校総合体育大会出場への報告に町教育委員会を訪れました。

三人とも団体戦の選手に選ばれており「一本でも多く取りたい」等の意気込みを語ると、篠原教育長から「壬生町出身として大きく羽ばたくため、いい結果が出るように頑張ってください」との激励の言葉がありました。

剣道のインターハイは、8月6日～9日に佐賀県佐賀市内の佐賀県総合体育館において開催され、小山高校は惜しくも予選リーグ2位となりました。



篠原教育長 上野さん 君島さん 寺内さん

みんなの広場



篠崎 涼ちゃん (下町)
(H13.9.7生)



高橋麻梨奈ちゃん (上町)
(H18.9.15生)



田中凌汰ちゃん (下台団地)
(H18.9.13生)



足助悠斗ちゃん (鯉沼)
(H18.9.7生)



わが家のアイドル

今回は11月生まれのアイドルを募集します。(締切10月19日)。写真はお返しします。

応募者多数の場合は抽選になることもありますのでご了承ください。

写真裏に住所、氏名、保護者名、生年月日、電話番号を書いて、役場企画財政課(直接或は郵便で〒321-0292壬生町通町12-22)または、稲葉・南犬飼各出張所、生涯学習館へ。

歴史民族資料館だより

問合せ先 歴史民俗資料館

☎ 82-8544

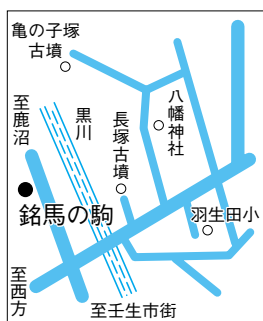
また文章中には、義経の馬を穴に埋めたとか、義経が追っ手から逃れるために穴にかくれた、との説も書かれています。いずれにしても、同街道には「吉次の墓」や「高尾神社」、「母衣掛けの松」など義経に関わる伝説が、数多く語られています。

「銘馬の駒」と記された史跡地は、今日の鹿沼市北赤塚にある市の史跡に指定されている『判官塚古墳』のことです。文章中には「日光往還(街道)より一町ばかり西の、田の小さい丘がある。穴があり、上と左右を囲む三尺四方の入口である。中に入ると六、七尺の広さがあり、高さは七尺、長さは一丈五、六尺、幅は九尺ばかりあって、四方とも厚い石をもって、堅固に造られている。また西に入口があり、ここより毎夜馬が出入りをし、田畑を荒らすため、ある農夫がその入口をふさいだところ、その後は田畑が荒らされることも無くなったと言われています。……」と書かれています。

銘馬の駒

シリーズⅢ
『壬生領史略』に記された文化財

次回は、下野市にある埋蔵金伝説が語られている古墳について紹介します。



*一町……約109m
一問……約1.8m
一尺……約30.3cm

ふるさとまつり開催
夏の夜空を花火が彩る



夏の恒例行事、ふるさとまつりが、8月25日、町総合公園陸上競技場において開催されました。

かんびょう踊りでは、自治会をはじめ、多くの団体が参加し、たくさんのお踊り手が檣を中心に輪を作りました。

花火大会では、花火の歴史を説明しながら、当時のものを再現した花火教室や、お祝いや記念の言葉を花火とともに贈る「記念花火」、会場に來られない壬生町ゆかりの方からの言葉を届ける「ふるさと花火」が打ち上げられました。

また、まつりの翌日に行われたごみ拾いには、今年は一般の方



かんびょう踊りには多くの踊り手が参加

らの協力もいただき、多くの方に参加をしていただきました。

寄付

◆社会福祉協議会へ

(○)数字は寄付回数

壬生町女性会様 ⑭ 5千円

日歌研師範連盟栃木県支部様 ⑩ 4万3千6百1円

日師連栃木県支部 南地区合同歌謡祭様 ④ 4万6千5百8円

(有)プライアント様 ① 3万円

栃木県歌謡協会下都賀支部様 ⑯ 5万円

5万円



ポスター「しっかり食べよう朝ごはん」



壬生東2年 筒井 菜緒

私の作品



壬生東小5年 杉山 奈々



絵手紙

まちのうごき

9月1日現在

総人口	39,885 人 (△52)
男	19,552 人 (△9)
女	20,333 人 (△43)
世帯数	13,926 世帯 (△24)
	()内は前月比

10月の納税等

- 町県民税 (3期)
 - 国民健康保険税 (4期)
 - 介護保険料(普通徴収・4期)
- 納期限 10月31日